

七月の行事

1	月	期末試験(高二のみ)
2	火	期末試験
3	水	期末試験
4	木	定期試験に関わる休日
5	金	期末試験
6	土	期末試験 ひかりの会① 高一海外研修行き先説明会(保護者) 英語検定試験(第1回2次β)
7	日	私立中高進学相談会ふれあい(川口フレンドイア)
8	月	高一大学見学会
9	火	答案返却 中三水泳指導 星美彩参加団体打ち合せ会議②
10	水	中一・中二水泳指導 中三イングリッシュシュキキャンプ(12日)
11	木	高三模試④ 中一・中二水泳指導 赤羽地区住民大会 イングリッシュ・ワークショップ(中学AM・高校PM)
12	金	
13	土	中二 五教科面談 オーストラリア留学説明会② 父母の会定例会② 中学説明会・授業体験会 星美彩役員合同会議 生徒とパードレの会とのディスカッション
14	日	
15	月	海の日
16	火	中二校内英語研修会(18日)
17	水	中二校内英語研修会
18	木	中二校内英語研修会
19	金	終業式 大掃除 中三保護者会(面談開始)
20	土	中学指名補習 マルタ島語学研修(希望者)(18/3)
21	日	彩の国進学フェア パードレの会総会
22	月	彩の国進学フェア
23	火	中学指名補習
24	水	中学指名補習
25	木	
26	金	
27	土	高校説明会・個別相談会
28	日	夏期進学合宿
29	月	夏期進学合宿
30	火	夏期進学合宿
31	水	夏期進学合宿

※事務部より 夏期休暇中に学割を利用したい方は、発行までに3日間かかります。余裕をもってお申し込み下さい。

八月の主な行事予定

26日 日 学園内大規模工事(全期間停電)
27日 月 関東地区カトリック校女子球技大会

9月2日

始業式

総合避難訓練

「第二十回合唱コンクールを振り返って」

大山 珠聖

二〇一九年六月十五日、北とびあさくらホールにて、星美学園中学校高等学校 第二十回合唱コンクールが開催されました。私がこの原稿を書いているのは六月二十日なので、まだ五日しか経っていないのですが、なぜか遠い昔のことのように感じられます。

本校で合唱コンクールを実施する目的は二つあります。一つ目は「美しいハーモニーと豊かな曲想表現を目指し、歌い合わせる喜びを持つ」、二つ目は「クラス的一致団結・協力の精神を養う」です。

今年度の課題曲は、中学校が「月の角笛」、高等学校が「Kyrie」でした。音楽的な目的である「美しいハーモニーと豊かな曲想表現を目指し：」において、中学校課題曲「月の角笛」が「豊かな曲想表現」、高等学校課題曲「Kyrie」が「美しいハーモニー」をメインの目的に担った選曲となりました。

「月の角笛」は親しみやすいメロディーと、擬音語を効果的に使った詞が特徴的な曲です。詞に関しては、国語科が授業内で詞の解釈を深めるグループワークを行ってくださり、大人が驚くような面白い意見が盛んに交換されました。また、図書館には「月の角笛」の作詞者である新美南吉氏のコーナーが設置され、生徒達の楽曲理解の手助けをしてくださいました。歌詞解釈から生まれる曲想表現の違いや擬音語の扱いがポイントとなり、クラスごとの表現力が試されました。

「Kyrie」はG・フォーレが作曲した小ミサ曲の中の一曲です。これは哀れみの賛歌であり、歌詞は「Kyrie eleison, Christe eleison. 主よ哀れみたまえ、キリスト哀れみたまえ」という、祈りの心が集約された二文のみです。星美学園では毎日聖歌を歌っていますが、「歌を通して祈りを捧げる」という聖歌の意義を再確認して欲しいという思いから、この曲を課題曲に選曲しました。歌詞も少なく、音符も八分音符より短いものはほぼないこの曲では、ハーモニーの美しさが評価を大きく左右しました。馴染みのない曲想に戸惑っていた生徒も多いようですが、練習を重ねるにつれハーモニーの美しさに気付いてくれたことと思います。

合唱コンクールでは毎回さまざまなドラマがあります。コンクールに対する意識の違いから、人間関係のもめ事が多く勃発します。今年度も同様にその点で悩みを抱えた生徒が多かったようで、私のもとにも沢山の悩みの声が寄せられました。生徒に限らず、人は一人ひとり得意分野も立場も違います。歌が得意な人もいれば苦手な人もいる、歌うことが好きな人もいれば嫌いな人もいる、部活も委員会も習い事も違えば、自分の時間をあてる優先順位も違う。そんな二十人弱く三十人弱が集まったクラスが一つのイベントに向かって二ヶ月間も練習を行うのは合唱コンクールだけではないでしょうか。合唱コンクールでの多くのいざこざを乗り越え、生徒達は大きく成長したように感じます。練習を重ねて結果を出したクラスはもちろん、練習が思うように進まなかったクラスも確実に何かを得たはずで、本番を迎えるまでの思いは人それぞれだったと思いますが、本番で舞台上に立ったとき、クラスの全員がクラスのためにより良い演奏をしたいと、同じ思いをもったことでしょう。その瞬間こそがまさに一致団結なのだと思います。

最後になりましたが、記念すべき第二十回合唱コンクールの開催に関わってくださったすべての皆様、約四十年間の歴史をつないでくださった皆様、子どもたちを支え応援に駆けつけてくださった保護者の皆様、そして、美しい歌声をホールいっぱい響かせてくれた生徒の皆さんに心から御礼申し上げます。